

西田 まちこ

練馬区議会議員



令和7年度第三回練馬区議会定例会 一般質問にて手話に関する施策について質問しました。

手話に特化した初めての法律となる「手話施策推進法」が衆議院本会議で全会一致により可決、成立し6月25日に施行されました。手話は言語であり、重要な意思疎通の手段であると位置付け、国や自治体の責務と明記しました。

施策の柱には「手話の習得、使用」「手話文化の保存、継承、発展」「手話に関する国民の理解、関心の増進」の三つを掲げています。国はこれらの施策を行うために必要な財政上の措置を講じ、手話を使う人たちの意見を施策に反映させ、施行後5年をめどとした検討規定も設けることとされました。

練馬区は、法に先駆け、令和4年6月に「練馬区障害者の意思疎通の促進と手話言語の普及に関する条例」を制定しました。

条例の制定に併せ、聴覚障害者や手話通訳者の団体のご意見を伺いながらタブレット端末を利用した遠隔手話通訳等、手話に関する施策の充実に取り組んできました。

手話施策推進法で定められた9月23日の手話の日に併せ、区役所で手話のパネル展を実施するとともに、聴覚障害者や手話通訳者の団体が開催する「手話まつり」の支援を行うなど、手話の普及啓発に取り組んでいます。



東京2025デフリンピックを応援しよう!!

デフリンピックとは、デフ+オリンピックのことで、デフ(Deaf)とは、英語で「耳がきこえない」という意味で、国際ろう者スポーツ委員会(ICSD)が主催し、4年毎に開催されるデフアスリートを対象とした国際スポーツ大会です。

東京2025デフリンピックは、100周年の記念すべき大会であり、日本では初めての開催になります。11月15日(土)~11月26日(水)まで開催。

練馬区は、手話施策推進法の施行やデフリンピックの開催は、手話に関する施策を更に充実し、区民の理解を一層促進する機会になると捉え、手話の普及啓発とともにデフリンピックの機運醸成に取り組んでいます。

大会後も、継続的にデフスポーツの体験会などを開催し、デフスポーツやパラスポーツの周知啓発に努め、誰もがスポーツを楽しみ、尊重し合う共生社会を目指してまいります。



陸上競技(10000メートル・マラソン)
日本代表の中野洸介選手

令和6年度決算(一般会計歳出決算額約3,296億円)について、適性に予算が執行されているか各款ごとに様々な質問や意見が出されます。私は、保健福祉費、土木費、子ども家庭費について質問しました。

【保健福祉費】

Q:HPVワクチンの公的検診について検討を。

A:国内での有用性を示すデータ等を検証しながら医師会の意見を伺う。

Q:9価ワクチンが男性のHPVワクチン接種に主承認されたことにより、男性HPVワクチン9価も助成の対象にされたい。

A:区としての費用助成については、都の動向とともに、他区の状況を注視しながら検討していく⇒都議会において、保健医療局長から前向きな答弁があったとのこと。

Q:手話通訳者の処遇改善や活躍の場を拡大されたい。

A:区が主催するイベントや会議、説明会などで登録手話通訳者にご協力いただいている。

謝礼については、令和6年度に増額しているが、近隣自治体の状況を参考にしながら、障害当事者や手話通訳者の団体など関係者の方と意見交換を行い、事業の充実に努めていく。

Q:手話通訳利用制限の撤廃を検討されたい。

A:利用者の事情を聞き、柔軟に対応している。

Q:区内事業者に対して、合理的配慮の周知の徹底を。

A:区では、改正障害者差別解消法の施行の機会を捉え、リーフレットを介して、職員や事業者向けの研修や区民向けの講演会などを開催し、周知している他、障害者、事業者からの相談に応じている。また、就労支援を行う際に、個々の事業者に対し、合理的配慮の提供について説明を行っている。合理的配慮に関する周知啓発は、継続的な取組が非常に重要。引き続き、事業者に対する合理的配慮の理解促進に取り組む。

Q:出張健康づくりセミナー事業内容の充実を。

A:働く世代の健康維持は、本人のみならず、家族や職場等にも影響するものであり、重要。

現在、動画等を活用して啓発を進めている。日常的な運動につながるように取り組んでいく。



【土木費】

Q:家庭でもできる水害対策として、雨水浸透施設や雨水タンク設置事業の周知を強化されたい。

A:今年度から助成限度額を40万円から55万円へ引き上げた。ホームページや区報への掲載、町会や自治会を通じたパンフレットの回覧、練馬区公式LINEやXなどの媒体を活用し、周知を実施している。

Q:流域対策としてグリーンインフラ等の整備を。

A:区は、流域対策として雨水流出抑制施設の整備を官民共同で推進している。雨水流出抑制施設の設置について、区民の取り組みが進むよう効果的なPRを積極的に行なっていく。

Q:区立公園新設及び改修時にインクルーシブ遊具の設置をされたい。

A:立地状況や公園利用者のご意見をなども踏まえ、ユニバーサルデザインに配慮して遊具の導入を進めていく。

【子ども家庭費】

Q:こども議会参加は手上げ式で、やりたい生徒ができるように。

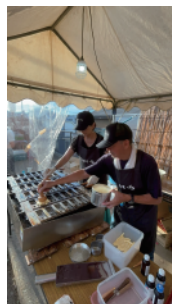
A:区内各地から広く参加いただきたく、各学校を通して募集している。

Q:社会を明るくする運動のイベント回数の見直しと内容を充実されたい。

A:推進委員会にて協議していく。



今年も各地の夏まつりへ



いつでも、お気軽にご相談ください。



X (旧Twitter)
@nishidamachiko



ホームページ
nishidamachiko.com



facebook



Instagram

西田 まちこ

検索